

今月の表紙

もちい

旧暦1月15日は小正月(こしょうがつ)。元日の大正月(おおしょうがつ)に対する言い方です。「月」を暦の基準にしていた大昔の日本では、満月から次の満月までが1カ月でした。昔は満月をめだたいものの象徴としていたため、1年で最初の満月の日を「正月」にしていました。これが「小正月」の起源とされています。

元日が正月として定着すると、小正月は豊作祈願などの農業に関連した行事や小豆粥などの家庭的な行事が中心となりました。

戦前、この地方では、小正月を祝う伝統的な行事として「もちい」が各家庭で行われていました。もちいは「餅祝」あるいは「望(もち)の日」の意で、小正月を意味します。14日に餅をついて「餅花」を作り作物の豊作を祈りました。餅花は餅を小さく短冊形に切り、ひねって稲穂の形にしたものと、米だんごで作った綿の実や繭の形を、アカメなどの枝に刺して飾っていました。



この日、西浦保育園では園児たちが餅花作りに熱中。真っ白な米粉を小さな手で丸めて、桃、黄、緑、白色のだんごに。アカメの枝はカラフルな餅花で満開になりました。

少し前までは、ごく普通に家庭でも行われていた伝統行事ですが、最近ではそうした光景を目にすることも少なくなりました。こうした保育園での行事を大切に、長く続けてほしいものです。(K)

目次 Contents

表紙解説・ぼくとわたしの写真館	2
子ども医療費無料化 通院も中学生まで拡大	3
確定申告はお早めに	4-6
市民相談	7
生命の海から・蒲郡の歴史	8
読む水族館・図書館だより	9
保健センター便り	10-11
遊びにおいでよ児童館へ	12
お知らせ	13-25
クイズまちがいさがし	26
ふれあい宅配便	27



# ぼくとわたしの写真館



 <p><b>小田准己くん</b> (府相町) 平成23年5月生まれ</p>	 <p><b>内田サラダちゃん</b> (清田町) 平成22年5月生まれ</p>	 <p><b>岩瀬智紀くん</b> (鹿島町) 平成22年6月生まれ</p>	 <p><b>内藤凛ちゃん</b> (形原町) 平成22年1月生まれ</p>	 <p><b>佐藤慎之助くん</b> (三谷町) 平成21年12月生まれ</p>
<p>家族から一言 </p> <p>みかんが好きな准己くん。強く優しい子に育ててね。</p>	<p>家族から一言 </p> <p>産まれてきてくれてありがとう。笑顔の一つひとつに幸福を感じるよ。大好きい♥</p>	<p>家族から一言 </p> <p>電車やバスが大好き智紀。いっぱいいたずらして遊んで、スクスク大きくなってね。</p>	<p>家族から一言 </p> <p>歌やダンスが大好きで、弟に本を読んであげるお姉さんです。</p>	<p>家族から一言 </p> <p>月1回しか逢えない初孫はわが家を笑顔にしてくれる宝物。また来てね。ありがとう!</p>

**募集** このコーナーに登場するお子さん(対象：平成21年3月1日以降の生まれ)を募集します。掲載を希望される方は、企画広報課(☎66♦1145)へご連絡ください。